

令和3年度博物館施設評価集計シート(3月末現在)

施設名 自然の博物館

1. 数値目標による評価 (1) 全館共通項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	利用状況	利用者数	年間入館者とアウトリーチ参加者数	110,400	人	未達	第3期教育振興基本計画を踏まえた目標値 (達成値の目標値に対する割合 70.4%)
				77,741	人		
2	利用状況	常設展観覧者	年間常設展観覧者数	87,370	人	未達	基準値:87,361人 目標参考値:R2年度46,713人 (達成値の目標値に対する割合 87.7%)
				76,597	人		
3	広聴・広報	事業情報の発信	対マスコミ情報発信件数	540	件	未達	基準値:541件 目標参考値:R2年度320件
				305	件		
4	利用状況	経営努力	観覧料および事業等収入額	9,683,000	円	達成	R3年度当初予算額
				10,035,596	円		

(2) 館別独自項目

評価基準	
目標値の達成度(100%以上)	達成
目標値の達成度(100%未満)	未達

	視点	項目	指標	目標値		評価	目標値の設定根拠
				達成値			特記事項
1	資料管理	収集・整理	年間の点検資料数	10,000	点	達成	資料管理計画による 点検回数:24回
				14,124	点		
2	満足度	常設展	アンケートでの常設展満足度	90	%	達成	R2年度実績96%を参考 R2年度目標値:80% 回答数:1,154(R2回答数552)
				96	%		
3	満足度	特別展・企画展	アンケートでの特別展・企画展満足度	90	%	達成	R2年度実績95%を参考 R2年度目標値:80% 回答数:1,064(R2回答数476)
				95	%		
4	満足度	自然観察会・講座等	アンケートでの受講者の満足度	90	%	達成	R2年度実績92%を参考 R2年度目標値:80% 実施回数:講座6回、観察会4回
				99.0	%		
5	学校利用	学校教育への支援	学校団体の博物館利用件数	131	校	未達	基準値:131 目標参考値:R2年度実績33 観覧:85校、講師派遣:21校
				106	校		
6	情報発信	インターネットの活用	ツイート数	300	回	達成	過去5年間最大値(H28年度294回)を参考 リツイート含む総数。1日1件以上のツイート。
				1,472	回		
7	調査研究	成果発表	研究成果の発表	12	件	達成	学芸系職員一人1件
				16	件		

年度内に取り組んだ重点事業、新たな取り組み等

事業の概要	<p>1 常設展の充実</p> <p>2 特別展、企画展の実施</p> <p>3 講座・講演会等</p> <p>4 学校との連携</p> <p>5 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <p>6 関係機関との連携</p>
事業の実施状況と過程	<p>1 常設展の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示資料のメンテナンス、入替え、展示替え等を実施。 ・県指定天然記念物「チチブサワラ」(R3年7月)の紹介ボード設置。 ・休止中の体験型展示スペースを整理し、大型はく製の展示や秩父の自然遺産PRショートムービーを映写する「森のシアター」を整備。 <p>2 特別展、企画展の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展：自然の博物館100年の軌跡ー標本陳列所から自然史の足跡をたどるー(10/30～2/27)。関連事業として秩父鉄道と共催したSLミュージアムトイン、隣接の養弘亭と共催した地質談義を実施。 ・企画展：①新収集品展(4/1～6/20)、②ジオパーク秩父へ出かけよう！(7/3～10/17)、③生きものの名前(3/12～3/31) ・パネル展：①自然博研究最前線(4/1～6/20)、②関東のジオパーク(6/22～10/27)、③絵葉書・パンフレットから見る明治・大正の秩父・長瀬(10/19～2/27)、④カメラで撮る標本の世界(3/1～3/31) <p>3 講座・講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ①自然史講座6回(108人)、②観察会4回(62人)、③講師派遣12回(YouTube講演含む)372人+YouTube観覧者数 <p>4 学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ①体験学習14回406人、②学校への出前授業7回385人、③学校利用受入れ(観覧)85校3,461人 <p>5 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作業部会にて、古秩父湾スタンプラリー実施(3/1～3/31) <p>6 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元観光協会：青モジライトアップ(5/22～6/20)、長瀬の日(7/16)、紅葉ライトアップ(11/13～23)事業協力。 ・埼博連加盟の秩父地域博物館9館共同で古秩父湾スタンプラリー実施(7/17～9/26)。 ・秩父まるごとジオパーク推進協議会の、日本ジオパーク再認定審査(11/4～11/6)。1/28再認定決定。 ・秩父地域の市町、団体、民間企業等で構成する「文化資源を活用した地域活性化実行委員会」により、秩父4地域の鳥瞰図、秩父地域の自然遺産PRショートムービーを作成(文化庁補助事業)。館内で展示、映写している。ショートムービーはyoutubeで配信している。また、鉄道会社のサイネージによる活用も行われた。
事業の成果	<p>1 常設展の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度3月末現在の来館者数は76,597人。来館者アンケートでは96%の満足度を得ている。 ・感染拡大防止対策(検温、入館者カード、手指消毒、館内清掃、入館者制限等)を徹底。 <p>2 特別展、企画展の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特別展「自然の博物館100年の歴史」関連事業として秩父鉄道と共催したSLミュージアムトイン、隣接の養浩亭と共催した地質談義を実施。また、企画展「ジオパークへ出かけよう！」は、秩父まるごとジオパーク推進協議会の共催を得て開催するなど、特に地域と連携した事業展開を行った。企画展「生きものの名前」では哺乳類、爬虫類、鳥類、昆虫、植物、鉱物、化石等、多彩な実物標本を展示し好評を得た。 <p>3 講座・講演会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染拡大防止対策を徹底して開催。参加者アンケートでは99%の満足度を得た。 <p>4 学校との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員を対象とした「授業に役立つ博物館活用講座」を試行的に実施。また、休止中の展示解説の代替として観覧に合わせた岩畳等観察を学校に提案し、14校が実施するなど学校ニーズを把握しての事業を行った。 <p>5 国天然記念物「古秩父湾」関連事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古秩父湾作業部会の初事業となるスタンプラリーを構成市町と協議のうえ実施。 <p>6 関係機関との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長瀬町観光協会、秩父鉄道、隣接の養浩亭のほか、今年度は特に当館が参画する秩父まるごとジオパーク推進協議会、古秩父湾作業部会、埼博連秩父地域加盟館、文化資源を活用した地域活性化実行委員会を通して地元関係団体、民間企業等と連携した事業を着実に展開し地域の一体感を更に高めた。 <p>※ HPやTwitter等による積極的な情報発信・広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おうちミュージアムや特別展・企画展の開催情報、博物館の身近な話題などのほか、新たに秩父地域の自然遺産を紹介するショートムービーをyoutube配信。情報発信を積極的に行った。特にTwitterは毎日投稿するとともに引用リツイートも行い、HP閲覧回数約60万回、Twitter表示回数約323万件を得た。

基礎データ

職員数 (学芸員数)	19人 (9人)	総予算額 (人件費を除く)	24,230,000 円	職員一人あたりの県民人口	38.6 万人
収蔵資料総点数 (R3.3末現在)	168,370点	事業経費 (上記の内数)	16,766,000 円	利用者一人あたりのコスト (令和2年度)	565 円
令和2年度 収集資料点数	3,224点	特定財源予算額 (うち観覧料収入)	9,683,000 円 (8,053,200 円)	県民人口に対する利用者割合 (令和2年度)	0.65%

(注)令和3年度4月1日現在の埼玉県推計人口は7,341,788人である